

## 令和2年度 第1回古賀市国民健康保険運営協議会議事録

- 【会議の名称】 令和2年度第1回古賀市国民健康保険運営協議会
- 【日時・場所】 令和2年9月29日（火） 19:00～19:40  
古賀市役所 501～503会議室
- 【主な議題】 (1) 令和2年度国民健康保険特別会計予算について  
(2) 新型コロナウイルス感染症への対応について  
(3) その他
- 【傍聴者数】 0人
- 【出席委員】 渡信人会長、三輪朋之会長代理、野田廣子委員、塩津美都子委員、  
淀川治委員、芝尾郁恵委員、堤啓委員、鐘ヶ江勝委員  
(欠席委員：矢野洋子委員)
- 【事務局】 市長（田辺）  
市民部長（清水）、  
市民国保課長（簗原）、国保係長（渋谷）、国保係（阿部）、  
予防健診課長（長崎）、健診指導係長（吉田）  
(庶務担当部署：市民国保課)
- 【配布資料】
- ① 会議資料（令和2年度国民健康保険特別会計予算について等）
  - ② 資料1（令和2年度古賀市住民健診実績・申込者数）
  - ③ 資料2（特定保健指導実施率経年一覧）

## 【会議の内容】

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 職員の紹介

5. 諮問

市長から別紙のとおり諮問

6. 議事

### (1) 令和2年度国民健康保険特別会計予算について

(資料説明：国保係長)

○堤委員 保健事業費のうち特定健診の予算はどの程度か。

○予防健診課長 約3,200万円である。

### (2) 新型コロナウイルス感染症への対応について

(資料説明：国保係長)

○淀川委員 新型コロナウイルスの国保税減免の要件に世帯の主たる生計維持者の収入が減少した場合とあるが、世帯で最も収入が多ければ世帯主でなくても対象になるということか。

○国保係長 対象は世帯主に限られる。

○芝尾委員 市独自減免の対象件数はどの程度見込んでいるのか。

○国保係長 これまでに3件ほど対象となりそうな被保険者から相談を受けているので、10件程度になるのではないかと想定している。

○芝尾委員 令和2年度の収納率を95%で見込んでいるとのことだが、コロナ禍の状況では高いように思うが。

○国保係長 新型コロナウイルスの減免もあり、平成31年度までの実績から無理な見込みではないと考える。

○堤委員 PCR検査を行ったレセプトが減点となるケースが出ているという話を耳にしている。今後一般の医療機関でのPCR検査が行われるようになり、医師が検査を行った方が良いという判断のもとで検査をした結果、このようなことが頻発すると医療機関としては非常に困る。必要な検査を控えてしまうことになりかねない。基準をある

程度明確にしてもらいたい。国や県から示される情報を基に、市から医療機関に判断の目安を示してもらえないか。

- 予防健診課長 市単独で基準を示すのは難しい。そのような要望が出ているということをも県に伝えたい。
- 堤委員 気軽にという語弊があるが、検査を受けることに対するハードルは下げてもらいたい。
- 渡会長 もし自分が実際に発熱したらどうするか、発症したらどうするか考えておく必要がある。また、今後インフルエンザが増える季節になるとますます難しい状況になるだろう。
- 塩津委員 病院には、発熱の際は事前に電話連絡をしてから来院するようにという貼り紙もされているが、やはり連絡なしで普通に来院する人もいるようで、徹底はできていないようだ。
- 芝尾委員 コロナを恐れて本来は受診や健診をしなければならない人が受診等を控えているという話もあるが。
- 健診指導係長 昨年度健診を受けた方に電話確認したところ、本来服薬が必要なのに受診を控えている方々がいたため受診勧奨したというケースがあった。
- 渡会長 正しい情報をもとに、正しく恐れ、正しく対処することが必要。

・議事録署名委員の指名

- 渡会長 議事録の署名は、鐘ヶ江委員にお願いする。

5. 閉会